

教員氏名	寺下 俊雄
職位	学長 ・ 教授
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻
最終学歴	奈良県立医科大学 医学部
学位	医学士
研究分野	脳神経外科学
研究キーワード	脳卒中
実務経験 (過去5年間)	【行政委員会・外部有識者等の活動】 ・和歌山市介護認定審査会委員（2008～） ・和歌山県私立学校審議会（～2022） ・2040年の和歌山を語る会～熟議～参加（2024）
担当授業科目 (過去5年間)	ふるさと・紀州学

教員氏名	松永 秀俊
職位	教授
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻
最終学歴	三重大学大学院医学系研究科 博士課程
学位	医学博士
教育研究業績 (過去5年間)	【その他】 ・九州理学療法士学会大会 2021 in SASEBO 査読 (2021) ・第32回 長崎県理学療法学会大会査読 (2022) ・九州理学療法士学会大会2022 in 福岡 査読 (2022) ・第33回 長崎県理学療法学会大会査読 (2023) ・専門理学療法士 (運動器理学療法) 更新 (2024) ・専門理学療法士 (スポーツ理学療法) 更新 (2024)
担当授業科目 (過去5年間)	理学療法概論、身体機能評価学実習Ⅰ、身体機能評価学実習Ⅱ、理学療法研究論、基礎理学療法学Ⅰ、 系統別・治療手技演習、運動器障害理学療法学実習、専門職連携総合演習A、理学療法総合演習、理学 療法見学実習、理学療法体験実習、理学療法評価実習、理学療法総合臨床実習

教員氏名	大泉 英次
職位	教授
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻
最終学歴	京都大学
学位	博士（経済学）
研究分野	経済学
研究キーワード	経済政策、地域経済、住宅市場
教育研究業績 （過去5年間）	【著書】 ・『借家の居住と経営：住宅白書 2017-2019』（日本住宅会議編・電子出版）（2020） ・『東アジアのグローバル地域経済学：日韓台中の農村と都市』（加藤光一/大泉英次編・大月書店）（2022） 【学術論文】 ・「韓国・台湾の住宅市場と住宅問題」（日本住宅会議編『住宅会議』第115号）（2022） 【その他】 ・「東アジアの都市土地所有と住宅問題：日本・韓国・台湾」（2022年度秋期経済理論学会・分科会報告）（2022） ・「住宅の社会性と市場」（日本住宅会議編『住宅会議』第117号）（2023） ・「居住福祉政策：地域包括ケアシステムと居住支援」（日本住宅会議編『住宅会議』第120号）（2024） ・「医療生協がめざす健康なまちづくり：名古屋南医療生協の取り組み」（和歌山県地域自治体問題研究所『わかやま住民と自治』第364号）（2024） ・「トランプ外交と世界平和の危機」（和歌山県地域自治体問題研究所『わかやま住民と自治』第368号）（2025）
実務経験 （過去5年間）	【行政委員会・外部有識者等の活動】 ・阪南市入札監視委員会委員長（2020～） ・阪南市公共料金等適正化審議会委員（2021～） ・日本住宅会議共同代表（2023～） ・和歌山県地域自治体問題研究所理事長（2019～） ・和歌山中央医療生活協同組合理事（2024～） ・和歌山放送「経済ジャーナル」コメンテーター（1993～）
担当授業科目 （過去5年間）	医療経済論、経営と会計、組織論、地域活性企業論

教員氏名	新宅 幸憲
職位	教授
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻
最終学歴	大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科 後期博士課程
学位	博士（スポーツ科学）
研究分野	身体教育学、健康スポーツ科学、総合領域
研究キーワード	身体運動、スポーツ科学、発育発達、姿勢、運動発達
教育研究業績 (過去5年間)	【その他】 ・An analysis of sleep after artificial CO2-water immersion in college elite swimmer. (2019) ・High Concentration artificial CO2-water legs bathing may facilitate a recovery from muscle fatigue by intensive resistance training. (2020) ・Relationship between center-of-gravity sway and toe-grip strength in Sound Table-Tennis (STT) players. (2020) ・Artificial CO2-water lower legs bathing affected quiet standing posture. (2020) ・Investigate of possibility to promote recovery of muscle hardness and delayed onset muscle soreness (DOMS) by using high-concentration artificial CO2-hot spring water. (2022) ・A possibility to improve the physical fatigue after artificial high concentration CO2 hot water immersion in athletes. (2022)
実務経験 (過去5年間)	【共同研究、調査研究等】 ・スポーツ科学の観点から重心動揺疲労回復、レジスタンス・トレーニング後に高濃度人工炭酸泉脚浴と疲労の関係、聴覚障害者の重心動揺と足趾力の関係 (2022) 【行政委員会・外部有識者等の活動】 - スポーツ庁「地域における医・科学支援体制構築事業」スポーツ医・科学支援の参加 (2025)
担当授業科目 (過去5年間)	運動学、運動学実習、人間発達学、健康とスポーツ

教員氏名	鍵井 一浩
職位	教授（実務家）
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻
最終学歴	関西福祉科学大学大学院社会福祉学研究科 博士後期課程
学位	博士（臨床福祉学）
研究分野	社会福祉学、理学療法学、介護福祉学
研究キーワード	社会福祉学、ソーシャルワーク、専門職連携実践、多職種連携教育、地域理学療法
教育研究業績 （過去5年間）	【その他】 ・地域理学療法研究会専門会員（2022～） ・支援工学理学療法研究会専門会員（2022～） ・予防理学療法研究会評議員（2022～）
実務経験 （過去5年間）	【行政委員会・外部有識者等の活動】 ・和歌山市自立支援型地域ケア会議メンバー（2020～） ・第9回 日本予防理学療法学会学術大会演題査読（2022） ・第5回 日本理学療法管理研究会学術大会 演題査読（2022） ・第62回 近畿理学療法学会学術大会 演題査読（2023） ・第8回 日本精神・心理領域理学療法研究会学術大会 座長・司会（2023） ・第8回 日本精神・心理領域理学療法研究会学術大会 演題査読（2023） ・第9回 日本精神・心理領域理学療法研究会学術大会 演題査読（2023） ・和歌山市民公開健康講座（第2回講師）（2023） ・第6回 日本理学療法管理学会学術大会演題査読（2023） ・第63回 近畿理学療法学会学術大会座長司会（2024） ・臨床実習指導者講習会 講師世話人（2025） ・第12回 日本地域理学療法学会学術大会演題査読（2025） ・第12回 日本予防理学療法学会学術大会演題査読（2025） ・令和7年度 和歌山県理学療法士協会学術局主催研修会（2025）
担当授業科目 （過去5年間）	地域包括ケア論、地域理学療法学Ⅰ、地域理学療法学Ⅱ、チーム医療論、地域理学療法学実習、日常生活活動学、理学療法概論、整形外科Ⅰ、トータルヘルスプロモーション、応用理学療法演習Ⅱ

教員氏名	山下 裕
職位	准教授（実務家）
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻
最終学歴	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 博士課程
学位	博士（医学）
研究分野	リハビリテーション科学、理学療法科学（運動器）
研究キーワード	運動器・中枢疾患の理学療法、理学療法評価、介護予防、慢性疼痛
教育研究業績 （過去5年間）	【著書】 ・Pain revolution: Factsheets Archive 日本語訳（2021） 【学術論文】 ・Development and Psychometric Testing of the Japanese Version of the Fremantle Neck Awareness Questionnaire: A Cross- Sectional Study. （Journal of Pain Research）（2021） ・大学生における肩こりと電子機器使用時間が頸部再配置機能に及ぼす影響. （西九州リハビリテーション研究）（2022） ・Predictors of Delayed Recovery in Japanese Patients With Whiplash- Associated Disorders: The Role of Initial Catastrophizing and Disability Levels. （Cureus）（2024） ・Effects of Disturbed Body Perception on Arm Function in Patients With Frozen Shoulder. （Cureus）（2024） ・Multifactorial Risk Profiling of Overuse Injuries in Elite High School Basketball Players in Japan: A Cluster Analysis Approach. （Cureus）（2025） 【その他】 ・理学療法士向けオンライン教育コンテンツの制作（2022） ・第12回日本予防理学療法学会学術大会準備委員長（2024～）
実務経験 （過去5年間）	【共同研究、調査研究等】 ・モバイル端末を利用した頸部位置覚測定装置の開発（2021～2023） ・科学研究費助成事業 若手研究：VR を活用した新しい頸部身体知覚異常評価システムの開発と検証（2024～2026）
担当授業科目 （過去5年間）	理学療法概論（オムニバス、15回中5コマ担当）、体表解剖学演習

教員氏名	松井 有史
職位	講師（実務家）
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻
最終学歴	和歌山県立医科大学大学院医学研究科 博士課程
学位	博士（医学）
研究分野	理学療法、生化学
研究キーワード	理学療法、酸化ストレス、フリーラジカル
教育研究業績 （過去5年間）	【著書】 問題解決モデルで見える 理学療法臨床思考 第1版（2022） 【その他】 ・荷重測定器「そくまる」開発の援助（2020～） ・和歌山リフレッシュ体操「まりと殿様」作製委員（動画編集担当）（2022～）
実務経験 （過去5年間）	【共同研究、調査研究等】 ・手関節部位へのマルチカレント神経筋電気刺激は副交感神経活動を促進する—パイロットスタディー（2025） ・生成人工知能による理学療法士国家試験の不適切問題検出能力の検討（2025） 【行政委員会・外部有識者等の活動】 ・和歌山市介護認定審査会委員（2023～） ・公益社団法人 和歌山県理学療法士協会 副会長：社会局長（2023～） ・第9期和歌山県高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会委員（2023～） ・和歌山県介護普及費等不服審査会委員（2024～） ・和歌山市自立支援型地域ケア会議専門職アドバイザー（2018～）
担当授業科目 （過去5年間）	リハビリテーション概論、基礎理学療法学Ⅱ、体表解剖学、理学療法評価学実習Ⅰ、救急援助論運動療法学実習Ⅰ、地域健康支援の現状と課題、応用理学療法学演習Ⅰ、応用理学療法学演習Ⅱ

教員氏名	福井 直樹
職位	助教（実務家）
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻
最終学歴	畿央大学大学院健康科学研究科 修士課程
学位	修士（健康科学）
研究分野	健康科学
研究キーワード	リハビリテーション、物理療法、脳血管障害
教育研究業績 （過去5年間）	【著書】 ・PT・OT 入門 イラストでわかる評価学（医歯薬出版株式会社）（2020） 【学術論文】 ・手関節部位へのマルチカレント神経筋電気刺激は副交感神経活動を促進する—パイロットスタディー（査読付） 総合理学療法研究（2025） 【その他】 ・伊藤超短波株式会社 お役立ちコラム 12種 監修（2023～2024） ・ミナト医科学株式会社 社内ビデオ研修 講師（2020） ・和歌山県立和歌山盲学校 医師講師（2020～）
実務経験 （過去5年間）	【共同研究、調査研究等】 ・令和 7 年度和歌山県国際交流助成金（共同研究）（2025） ・令和 6 年度和歌山県 MCI 高齢者居場所づくり支援事業補助金（共同研究）（2024） 【行政委員会・外部有識者等の活動】 ・一般社団法人 日本物理療法学会の理事を務める（2022～） ・一般社団法人 日本理学療法士学会連合 日本物理療法研究会の評議員を務める（2021～）
担当授業科目 （過去5年間）	運動療法学実習II、神経筋疾患理学療法学実習、物理療法学実習、理学療法評価学実習II、応用物理療法学演習、応用理学療法演習 I（オムニバス形式）

教員氏名	禹 炫在
職位	助教（実務家）
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻
最終学歴	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 博士課程
学位	医学博士
研究分野	ライフサイエンス / リハビリテーション科学
研究キーワード	急性期（周術期含）リハビリテーション, 呼吸リハビリテーション, リハビリテーション栄養, 身体活動量, 呼吸機能関連運動プログラム開発
教育研究業績 （過去5年間）	【学術論文】 ・日本の理学療法関連学術誌における生成人工知能利用規定の現状と課題（理学療法学）（2025） ・Impact of Early In-Hospital Physical Activity on Health-Related Quality of Life at Discharge in Older Patients with Community-Acquired Pneumonia（J. Korean Academy of Cardiorespiratory Physical Therapy）（2025） ・生成人工知能による理学療法士国家試験の不適切問題検出能力の検討（理学療法学）（2025） ・Development and evaluation of an automated breathing-synchronized chest wall vibration stimulation system（J. Phys. Ther. Sci）（2024） ・Rib Cage Contributions to Inspiratory Capacity in Patients with Cervical Spinal Cord Injury（Current Research in Physiology）（2024） ・Anxiety and its risk factors among non-Japanese residents living in Japan undergoing COVID-19 situation: A cross-sectional survey（PLOS ONE）（2024） ・Influence of upright exercise with external thoracic and pelvic compression on thoracic expansion and respiratory function in healthy young adults: A pilot study（Journal of Bodywork and Movement Therapies. 36）（2023） ・高齢市中肺炎患者における入院中の身体活動量と入院関連能力低下との関連（日本呼吸ケア・リハ学会誌）（2023） 【その他（学会発表、講演）】 ・Dose-response of Sarcopenia and Frailty on Step Count in Older Pneumonia Patients（2025） ・高齢者肺炎の理学療法のオンライン講演（2025） ・Case of Field Test and Physical Activity Assessment and Therapeutic Exercise Applied in Acute Respiratory Disease（2024） ・Enhancing In-Hospital Physical Activity in Older Patients: The New Role of Physiotherapy and Multidisciplinary Collaboration（2024）
実務経験 （過去5年間）	【共同研究、調査研究等】 ・高齢内部障害患者におけるサルコペニア、フレイルに関する日韓共同研究（2025～） ・理学療法学学生における生成 AI の利活用の実態調査（2025～） ・令和 7 年度和歌山県国際交流支援事業採択：和歌山県理学療法士の国際交流の推進事業（2025～2026） 【行政委員会・外部有識者等の活動】 ・韓国理学療法士協会国際部国際委員（2022～） ・日本理学療法士協会の国際事業課国際化推進作業部会員（2023～） ・日韓内部障害理学療法研究会の代表（2024～） ・日本呼吸理学療法士学会の評議員（2025～2026）
担当授業科目 （過去5年間）	内部障害理学療法学実習、理学療法評価学実習Ⅱ、応用理学療法演習Ⅰ・Ⅱ（オムニバス）、理学療法概論（オムニバス）、地域理学療法学実習（オムニバス）、基礎理学療法学Ⅰ、体表解剖学演習、理学療法総合演習、臨床見学実習、臨床体験実習、臨床評価実習、臨床総合実習

教員氏名	石橋 誠隆
職位	助教（実務家）
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻
最終学歴	佛教大学通信教育課程教育学部教育学科
学位	学士（教育学）
研究分野	教育学、人間医工学
研究キーワード	教育学、リハビリテーション科学
教育研究業績 （過去5年間）	【著書】 ・「問題解決モデルで見える理学療法臨床思考 臨床実習・レポートにも役立つ統合解釈テクニック」（文光堂） （2022）
実務経験 （過去5年間）	【行政委員会・外部有識者等の活動】 ・和歌山市地域リハビリテーション支援活動（2017～） ・一般社団法人日本理学療法教育学会コアカリキュラム委員会部員（2024～） ・臨床実習指導（2024～）
担当授業科目 （過去5年間）	応用理学療法演習Ⅰ、応用理学療法演習Ⅱ、生活環境学実習、日常生活活動学実習、応用評価学演習 地域理学療法学、疾患別理学療法、理学療法技術論、日常生活活動学、予防医学、臨床リハビリテーションの 実際

教員氏名	笹井 晋吾
職位	副学長 ・ 教授
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻
最終学歴	兵庫教育大学大学院学校教育研究科 修士課程
学位	修士（学校教育学）
研究分野	外国語教育における指導法の構築
研究キーワード	教科教育法、言語能力の育成、英語の４技能、学習ストラテジー、タスク設計、教材開発
教育研究業績 （過去5年間）	【その他】 ・和歌山県高等学校英語教育研究会における「県内の高等学校英語教育の今後の方向性と、新たな英語教育のシステムづくり」（2020～2021）
実務経験 （過去5年間）	【共同研究、調査研究等】 ・文部科学省「高等学校におけるコミュニティ・スクールの普及に向けた在り方に関する調査」において、本県アドバイザーとして説明及び提言（2022） ・和歌山県教育委員会 高等学校英語授業改善研究協議会において、「新学習指導要領に係る英語授業の在り方、及び指導と評価の一体化」について指導・講義（2022～2023） 【行政委員会・外部有識者等の活動】 ・和歌山県立高等学校 校長（耐久高等学校、海南高等学校、桐蔭高等学校）（2017～2023） ・和歌山県高等学校英語教育研究会 会長（2020～2021） ・日本赤十字社和歌山県支部 和歌山県青少年赤十字指導者協議会 副会長（2020～2021） ・和歌山県立桐蔭高等学校 学校運営協議会 委員（2021～2023） ・和歌山大学教育学部附属小学校・中学校 学校運営協議会 委員（2021～2023） ・和歌山県高等学校通信制教育振興会 理事（2021～2023） ・和歌山県教育委員会 高等学校英語授業改善研究協議会 会長（2022～2023）
担当授業科目 （過去5年間）	英語Ⅰ、英語Ⅱ、教育学Ⅰ、教育学Ⅱ、ふるさと・紀州学

教員氏名	京 雪楓
職位	教授
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻
最終学歴	和歌山県立医科大学大学院医学研究科 博士課程
学位	医学博士
教育研究業績 (過去5年間)	【学術論文】 ・Over proliferation of myeloid cell in low malignant cancer. (JSM Clin Oncol Res. 2022 10 (1)) (2022) ・SynergisticEffectsofLenvatinib (E7080) and MEK Inhibitors against Anaplastic Thyroid Cancer in Preclinical Models. (Cancers (Basel) . 13 (4)) (2021)
実務経験 (過去5年間)	【共同研究、調査研究等】 ・頭頸部癌における TRP チャンネルと腫瘍内細菌叢による癌微小環境制御機序の解明 (和歌山医大・文部省研究費 2024-26) ・細菌叢解析を用いた頭頸部再建術後感染症に対する医療処置バンドル確立に繋げる研究 (和歌山医大・文部省研究費 2024-26) ・嗅神経系再生と恒常性維持における補体関与の解明 (和歌山医大・文部省研究費 2024-26) 【行政委員会・外部有識者等の活動】 ・中国山東大学医学部客座教授 (終身客座教授)
担当授業科目 (過去5年間)	病理学、神経内科学I、神経内科学II

教員氏名	盛口 敬一
職位	教授
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻
最終学歴	金沢医科大学
学位	医学博士
研究分野	白血球のフリーラジカル生成局在の組織化学的可視化
研究キーワード	白血球、組織化学、活性酸素、フリーラジカル
教育研究業績 (過去5年間)	【学術論文】 ・『Ultrastructure Study of the Age- dependent Effects of the Alendronate Sodium Hydrate Treatment on the Parathyroid Gland in Golden Hamsters.』(J of Hard Tissue Biology 29) (2020) ・『Recovery of sensory function after the implantation of oriented-collagen tube into the resected rat sciatic nerve.』(Regen Ther. 14) (2020) ・『MC5R Contributes to Sensitivity to UVB Waves and Barrier Function in Mouse Epidermis.』(JID Innov. 23) (2021) ・『Biofilm formation of Staphylococcus epidermidis with and without collagen imaged using atmospheric scanning electron microscopy and antibacterial effect of Ag- decorated polymeric particles imaged by transmission electron microscopy.』(Microsc. Microanal. 28) (2022) ・『Effects of silver-decorated PLGA nanoparticles on <i>Staphylococcus epidermidis</i> biofilms and evaluation of the detoxification limit of bacteria against these nanoparticles.』(Nanoscale Adv. 31) (2024)
担当授業科目 (過去5年間)	人体構造学 I : 発生学、骨学、筋学 人体構造学 II : 組織学、内臓学 人体構造学 III : 神経学 解剖学実習 : 骨学と筋学の実習

教員氏名	渡邊 和子
職位	教授
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻
最終学歴	岐阜大学
学位	医学博士
研究分野	脳神経科学
研究キーワード	高齢者、軽度認知機能低下（MCI）、認知症予防、介入効果
教育研究業績 （過去5年間）	【学術論文】 ・Effects of dance video game training on cognitive functions of community-dwelling older adults with mild cognitive impairment. (Aging Clinical and Experimental Research 35) (2023) ・統合失調症に対する運動課題と認知課題の多重課題プログラム Cognitive Activation Therapy (CAT) 開発に向けた予備的研究（精神障害とリハビリテーション 27）（2023）
実務経験 （過去5年間）	【行政委員会・外部有識者等の活動】 ・和歌山県高等教育共創コンソーシアム 委員大学等地域貢献推進事業審査会審査委員（2020～）
担当授業科目 （過去5年間）	生理学、生理学実習

教員氏名	山田 大豪
職位	教授
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻
最終学歴	神戸大学
学位	博士（医学）
研究分野	1.リハビリテーション科学 2.作業療法学 3.精神系及び身体系作業療法に関する実務
研究キーワード	1.統合失調症 2.認知症 3.頭部外傷
教育研究業績 （過去5年間）	【著書】 ・「教育支援システム（作業療法士版）」国試教材（Web 版）（エスエイティーティSATT株式会社）（2020） ・作業療法評価学 作業療法学ゴールドマスターテキスト 第3版（メジカルビュー）（2022） 【学術論文】 ・注意欠如・多動症の診断のある女兒と母親に対して目標指向型アプローチのホームプログラムを実践した一例（作業療法43巻2号）（2024） ・Conceptual model of effective parenting strategies for mother with children who experience developmental disorders（発達障害児を持つ母親のための効果的な子育て戦略の概念モデル）（Physical & Occupational Therapy In Pediatrics）（2024） 【国際学会】 ・Influence of Age on the Subjective Well- being in Endogenous Psychosis（第28回 欧州精神医学（EPA2020））（2020） ・Relationship between Subjective Well- Being and Interpersonal Relationships in the sheltered workshop（42th National Academy of Neuropsychology（Denver）Vol.37）（2022） ・Comparing Subjective Well-being between the Elderly and Adults in People with Mental Illness（米国老年医学会（AGS23, Los Angels））（2023） 【国内学会】 ・自律神経機能評価を用いたリラグゼーションプログラムの有用性に関する検討（第54回 日本作業療法学会（Web開催））（2020） ・精神疾患患者の自殺を体験した作業療法士における立ち直りのプロセス（第55回 日本作業療法学会（仙台 Web 開催））（2021） ・注意欠如・多動症児に対する Goal- Directed Training のホームプログラムと外来作業療法によるコーチングを並行して実践した一例（第55回 日本作業療法学会（仙台 Web 開催））（2021） ・リラグゼーションプログラムが自律神経機能に与える影響に関する予備的研究（第55回 日本作業療法学会（仙台 Web 開催））（2021） ・発達障害児を養育する母親が家族と見つけた子育て方略-M-GTA を用いたインタビューの分析-（第56回 日本作業療法学会（京都））（2022） ・就労支援施設における主観的 well-beingと対人関係の関連（第56回 日本作業療法学会（京都））（2022） ・学校との連携が放課後等デイサービス利用児の保護者の養育態度へ及ぼす影響（第30回 兵庫県作業療法学会（姫路））（2024）

	【大学，大学院指導】 ・卒業論文指導（2020～2025） ・修士論文指導（院生 5 名を指導） i）主指導教員として指導：兵庫医療大学大学院医療科学研究科（2019～2021） ii）主指導教員として指導：兵庫医療大学大学院医療科学研究科（2019～2022） iii）主指導教員として指導：兵庫医科大学大学院医療科学研究科（2021～2024） iv）主指導教員として指導：兵庫医科大学大学院リハビリテーション科学研究科（2023～2025） v）主指導教員にて指導：兵庫医科大学大学院リハビリテーション科学研究科（2024～2025） ・学位（修士）論文審査会主査,副査を担当 i）主査：兵庫医療大学大学院医療科学研究科（2022） ii）主査：兵庫医療大学大学院医療科学研究科（2023） iii）主査：兵庫医科大学大学院医療科学研究科（2024） 【受賞】 ①学術誌『作業療法』 第43巻 表彰論文奨励賞（2025） ②兵庫医科大学名誉教授の称号（2025）
実務経験 （過去5年間）	【社団法人日本作業療法士協会の活動】 ・教育部部員（2020～2025） ・世界作業療法士連盟（WFOT）認定等教育水準審査委員（2020～2025） ・認定作業療法士（日本作業療法士協会認定）（2020～2025） 【中立的な第三者機関の活動】 ・一般社団法人リハビリテーション教育評価機構 評価認定委員会 評価員（2020～2025）
担当授業科目 （過去5年間）	作業療法学概論Ⅰ、作業療法学概論Ⅱ、解剖学実習Ⅰ、解剖学実習Ⅱ、作業療法評価学総論Ⅱ、精神系作業療法評価学、精神系作業療法治療学Ⅰ、精神系作業療法治療学Ⅱ、精神系作業療法治療学演習Ⅱ、精神障害作業療法学Ⅰ、作業療法症例演習、作業療法総合演習、作業療法特別演習、卒業研究、総合リハビリテーション論、医学英語、予防医学、産業保健論、作業療法評価学実習、早期臨床体験実習、見学実習Ⅰ、見学実習Ⅱ（地域）、評価実習、総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ、リハビリテーション科学トピックス、精神作業行動特論、精神発達包括的評価特論、地域作業学特論、精神活動学特論、精神活動学特論演習、リハビリテーション科学研究、リハビリテーション科学課題研究

教員氏名	長辻 永喜
職位	教授
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻
最終学歴	神戸大学大学院医学系研究科 博士前期課程
学位	修士（保健学）
研究分野	人間医工学
研究キーワード	リハビリテーション科学・福祉工学・福祉機器・住宅改造・自助具
教育研究業績 （過去5年間）	【学術論文】 ・「政治連盟活動」（大阪作業療法ジャーナル第38巻 第2号）（2025）
実務経験 （過去5年間）	【研究会、ワークショップ等】 ・「退院支援・生活支援の為に住環境整備」～機能と生活のつながり方～（2024）
担当授業科目 （過去5年間）	作業療法概論、作業療法評価学総論Ⅰ、福祉用具学、地域作業療法学Ⅰ（オムニバス）、リーダーシップ論、障害者スポーツ演習（オムニバス）、作業療法管理学、地域健康支援の現状と課題（オムニバス）、身体障害作業療法学Ⅱ（オムニバス）、応用作業療法学演習Ⅱ、専門職連携総合演習 B（オムニバス）、国家試験対策（オムニバス）、作業療法総合演習（オムニバス）

教員氏名	吉田 一平
職位	教授（実務家）
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻
最終学歴	首都大学東京大学院人間健康科学研究科 博士後期課程
学位	博士（学術）
研究分野	人間医工学、健康（スポーツ）科学、脳科学
研究キーワード	リハビリテーション科学、福祉工学、応用健康科学、脳計測科学
教育研究業績 （過去5年間）	【学術論文】 ・『作業療法士国家試験における大規模言語モデルの活用可能性：ChatGPT-4o と Gemini 2.0 Flash の比較』（作業療法教育研究）（2025） ・『生成人工知能による理学療法士国家試験の不適切問題検出能力の検討』（理学療法学）（2025） ・『日本の理学療法関連学術誌における生成人工知能利用規定の現状と課題』（理学療法学）（2025） ・臨床実習の感想を学生間で深める機会を作る試み-内容分析を用いての交流-（作業療法教育研究 24巻）（2025） ・『訪問リハビリテーションにおける挑戦-能力バランス調整プロセスを用いた作業療法が高齢者の生きがい感へ与える効果』（作業療法 43巻）（2024） ・『Bone substitute fracture in open wedge high tibial osteotomy: Comparison of two different bone substitutes』（Journal of Joint Surgery and Research 2巻）（2023） ・『院内多部署の業務改善に向けたカスタムアプリ作成の効果』（日本医療マネジメント学会雑誌 23巻）（2022） ・『A spreading roots sign: Characteristic sign of the preliminary stage of medial meniscus posterior root tear on magnetic resonance imaging』（Journal of Orthopaedic Science 27巻）（2022） ・『フロー理論を応用した作業療法実践に関する文献レビュー』（作業療法 41巻）（2022） ・『回復期リハビリテーション病棟におけるベッドコントロール支援機能の活用による効果』（日本医療マネジメント学会雑誌 22巻）（2021） ・『脳梗塞患者に対し多職種との目標の明確化を図り、介助量軽減を図った症例：Adjusting the challenge-skill balance を用いて』（福井県作業療法士会学術誌 7巻）（2020） ・テレビ電話を利用した情報交換による、スタッフの連携意識への効果（福井県作業療法士会学術誌 7巻）（2020）
実務経験 （過去5年間）	【共同研究、調査研究等】 ・2025 年度 ECOMO 交通バリアフリー研究・活動助成事業 共同研究（2025～） ・日本学術振興会 科学研究費助成事業若手研究 2024 年度採択（2024～） ・和歌山県MCI高齢者居場所づくり支援事業（2024～2025） ・ファイザーヘルスリサーチ振興財団 ファイザーヘルスリサーチ振興財団 国内研究助成（2019～2020）
担当授業科目 （過去5年間）	身体障害作業療法学Ⅰ、身体障害作業療法学実習Ⅰ、日常生活活動学、日常生活活動学実習Ⅰ、日常生活活動学実習Ⅱ、作業療法研究論、基礎作業学実習Ⅰ

教員氏名	岡橋 さやか
職位	教授（実務家）
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻
最終学歴	神戸大学大学院システム情報学研究科 博士課程後期課程
学位	博士（学術）
研究分野	人間医工学、健康・スポーツ科学、人間情報学
研究キーワード	リハビリテーション科学・福祉工学、応用健康科学、高齢看護学、ヒューマンインタフェース・インタラクション、脳計測科学
教育研究業績 （過去5年間）	【学術論文】 ・タブレット端末を用いた認知機能検査NCGG-FATの認知機能低下者における使用可能性の検討（ヒューマンインタフェース学会論文誌 26（3））（2024） ・Dyadic art appreciation and self-expression program（NCGG-ART）for people with dementia or mild cognitive impairment and their family caregivers: A feasibility study（Journal of Alzheimer's Disease 97（3））（2024） ・Development of an Electric Pegboard（e-Peg）for Hand Dexterity Improvement and Cognitive Rehabilitation: A Preliminary Study（Advanced Biomedical Engineering 12）（2023） 【その他】 ・認知症要介護者の外出行動の実態（NCGG-UniCo）第2報：行き続けたい場所（第43回日本認知症学会学術集会）（2024） ・認知症高齢者と家族に対する交流型アートプログラム（NCGG-ART）の予備的効果検証：会話及び心拍変動の分析（生体医工学シンポジウム 2024）（2024） ・地域における要介護高齢者と家族へのペア参加型支援に関する調査（第 17 回日本作業療法研究学会学術大会）（2023）
実務経験 （過去5年間）	【共同研究、調査研究等】 ・アートを用いた要介護者・家族ペア参加型プログラム開発：遠隔実施と生理心理学的検証（研究代表者）（2023～） ・ユニバーサル・フレンドリー・ファシリティが認知症の人と地域住民の社会参加向上とスティグマ軽減、ウェルビーイング向上にもたらす効果検証（研究分担者）（2023～2025） 【行政委員会・外部有識者等の活動】 ・ヒューマンインタフェース学会，理事（2023～） ・バイオメカニズム学会，理事（2024～）
担当授業科目 （過去5年間）	老年期障害作業療法学Ⅰ、老年期障害作業療法学Ⅱ、地域作業療法学Ⅱ、作業療法評価学総論Ⅱ、作業療法見学実習、作業療法体験実習、作業療法評価実習、作業療法総合臨床実習、運動機能評価学実習、作業学、作業分析学演習、日常生活援助法Ⅰ・Ⅱ、身体障害作業療法治療学総論、身体障害作業療法治療学各論Ⅰ・Ⅱ、生活機能評価学実習、高次神経障害作業治療学、高齢期作業治療学

教員氏名	湯川 喜裕
職位	教授（実務家）
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻
最終学歴	畿央大学大学院健康科学研究科 修士課程
学位	健康科学修士
研究分野	作業療法、脳科学、人間医工学
研究キーワード	基盤・社会脳科学、脳計測科学、認知科学、リハビリテーション科学・福祉工学、医療技術評価学
教育研究業績 （過去5年間）	【学術論文】 ・『Transcranial static magnetic stimulation over the motor cortex can facilitate the contralateral cortical excitability in human』(Scientific reports 2;11 (1)) (2021) ・『脳卒中片麻痺患者の上肢運動機能障害に対する振動誘発運動感覚錯覚課題の有効性』(作業療法 40 巻2号) (2021) ・『Effects of transcranial static magnetic stimulation over the primary motor cortex on local and network spontaneous electroencephalogram oscillations』(Scientific reports 11 (1)) (2021) ・『Effects of Low-Frequency Repetitive Transcranial Magnetic Stimulation and Occupational Therapy in Chronic Stroke Patients with Severe Upper Limb Hemiparesis』(Heliyon;9) (2023) ・『Vibration-Induced Illusory Movement Task Can Induce Functional Recovery in Patients With Subacute Stroke』(Cureus 16) (2024)
実務経験 （過去5年間）	【共同研究，調査研究等】 ・日本学術振興会 科学研究費助成事業 研究活動スタート支援（課題番号:22K21224）研究代表者（2022～2025） 【行政委員会・外部有識者等の活動】 ・（一社）和歌山県作業療法士会 理事（2024～） ・地域支援事業推進委員会 和歌山県有田川町 担当作業療法士（2025～）
担当授業科目 （過去5年間）	体表解剖学演習、作業療法評価学Ⅰ、作業療法評価学実習（オムニバス）、身体障害作業療法学Ⅰ（オムニバス）、身体障害作業療法学Ⅱ、日常生活活動学（オムニバス）、日常生活活動学実習Ⅱ、基礎作業学実習Ⅱ（オムニバス）、応用作業療法演習Ⅱ（オムニバス）、身体障害作業療法学実習Ⅱ（オムニバス）、高次脳機能障害の治療法、地域作業療法学実習（オムニバス）、国試対策講座、見学実習（オムニバス）、体験実習（オムニバス）、評価実習（オムニバス）、総合臨床実習（オムニバス）

教員氏名	西尾 恵
職位	教授（実務家）
所属	健康科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻
最終学歴	大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科 博士前期課程
学位	修士（保健学）
研究分野	人間医工学、教育工学、心理学
研究キーワード	作業療法学、脳高次機能学、介護予防と支援技術、授業
教育研究業績 （過去5年間）	【学術論文】 ・臨床実習の感想を学生間で深める機会を作る試みー内容分析を用いての交流ー（作業療法教育研究 第24巻2号）（2025） 【その他】 ・作業療法養成校におけるフロー理論を応用した授業評価システムの考案（第44回 近畿作業療法学会）（2024） ・フロー理論を応用した「難易度」と「理解度」の2項目授業アンケートの試みー毎回の授業直後に実施する負担感と役立ち度の検討（第44回 近畿作業療法学会）（2024） ・毎回授業後のフロー理論を基盤としたCS アンケートが作業療法教育の「個別最適で協働的な学び」に寄与できるかどうかの一考察（第21回 和歌山県作業療法学会）（2024） ・フロー理論を基にした授業評価システムが養成校の科目展開に与える効果（第21回 和歌山県作業療法学会）（2024）
実務経験 （過去5年間）	【共同研究、調査研究等】 ・京都大学学際融合教育研究推進センター私学経営アカデミー共同研究「教職連携の現状と課題」（2024～） ・京都大学学際融合教育研究推進センター私学経営アカデミー指定研究、日本作業療法協会教育部協力「作業療法教育における個別最適化と協働的な学びの実現に向けた取り組み」（2024～） ・星槎大学大学院指定研究「新学習指導要領に適合する医療専門職の学びの環境調整」（2025～） 【行政委員会・外部有識者等の活動】 ・京都府作業療法士会 臨床実習指導者講習会企画・運営委員（2018～2023） ・京都府作業療法士会養成部 副部長（2018～2023） ・全国リハビリテーション養成校連絡協議会 京都府作業療法士会代表（2021～2023） ・和歌山県作業療法士会 臨床実習指導者講習会企画・運営委員（2023～） ・和歌山県作業療法士会 養成施設施設情報担当（2024～） 【研究会、ワークショップ等】 ・国家試験対策研究会（2016～） ・臨床指導者講習会 修了（2021） ・臨床実習実践者講習会 修了（2022） ・ルックスケア研究会（2021～） ・生活と化粧を関連付けた社会参加プログラム（SSPC）認定講習会 修了（2023） ・日本作業療法教育研究会（2021～） ・発達障害児地域支援研究会（2024～）
担当授業科目 （過去5年間）	高次脳機能障害学、作業療法概論、作業療法研究法、作業療法総合演習、作業療法評価学、作業療法評価学実習、社会福祉論、身体障害作業療法学、地域作業療法学、地域包括ケア論、地域作業療法実習、発達障害作業療法学、福祉用具論、臨床実習（見学・評価・総合臨床）